



### 箕面の森アートウォークについて

箕面は、古くから大滝と紅葉で知られ、年間200万人もの人々が訪れる北摂屈指の観光地です。アートウォークが開かれる滝道には、1350年もの長い歴史があります。古くは、658年、役行者が大滝のもとで修行をしたと言われていました。以来、滝道は人々の往来が頻繁にあり、また、西江寺、瀧安寺など歴史的な建造物もあり、もはや箕面はまったくの原生的自然ではなくなっています。人間の営為が加わった自然なのです。つまり、文化的、歴史的な意味を担った自然(二次的自然)と言えます。そうした長い歴史に支えられた、人間と自然の豊かな関係において拓かれた滝道に美術作品を設置することは、美術の視点においても、観光の視点においても意義のあることです。

本イベントでは、関西を中心に活躍している現代アーティストを招待し、箕面の自然・歴史的建造物・史話・施設などをテーマにしたサイトスペシフィックなアート作品を阪急箕面駅から大滝に至る滝道沿いやその周辺の施設や店舗などに、設置します。また、サイトスペシフィックなダンスパフォーマンスや、ワークショップなども企画しています。

サイトスペシフィックアートは、文字通り設置される環境や文化、歴史そしてそこに関わる地域の人々の生活を反映した作品を指します。その地域の人々の生活に密着し、現代アートの仕掛けによって来訪者(観光客・観客)が箕面の歴史、文化(風土)とかかわり、風景の再発見に繋がる、そういったアートイベントを企画しています。

中谷 徹 箕面の森アートウォーク プロデューサー



## いにしえ うつ かたち 古の箕面が映ろう造形 — 美の再発見 — Reflections of Ancient Minoh -Rediscovery of the Beauty-

Minoh is well known for the autumn leaves and the waterfall since long ago: it is the most popular tourist spot in the Hokusetsu region, where two million people visit throughout the year. The Takimichi, the venue of this art event, has a long, 1350 year history. It is said that Enno Gyoujya (a mountain priest) practiced asceticism at the waterfall in 658. Since then the Takimichi (a path to the waterfall) has not been a virgin forest. Its nature has been altered by human activities. That means that it is a nature loaded with cultural and historical meaning. It is very significant to install contemporary art work along the Takimichi, where a rich relationship between man and nature has developed, in both point of view, art, and sightseeing.

For this event, contemporary artists who are at the cutting edge, mainly in the Kansai area, are invited. Site-specific artwork is installed at stores and facilities along or neighboring the Takimichi, leading to the Otaki, or waterfall, from the Minoh station on the Hankyu railroad. Performances in the square in front of the Ryuanji-temple, waterfall and Kotonoya (former inn), and workshops in the square in front of the Ryuanji-temple, will be featured.

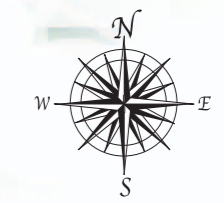
Site-specific art refers to an artwork that is created taking the location, the environment, the facilities, the culture, the history and the people's lives in this community into account. Communicating with locals to know their lives is intended for art tourists and other visitors to understand what contemporary art is and to appreciate it to rediscover Minoh's nature, history and culture with a new perspective provided by the works of art.

This year's story of Minoh, once again, is about to unfold among the people on the stage of the Takimichi.

Toru Nakatani

### 箕面の森アートウォークロゴマークについて

光の三原色から変化させた、それぞれの色に意味を持たせました。赤=アーティスト、緑=場(箕面の地)、青=コミュニティ、また、それと同時に、箕面の森を三次元的にも表したデザインになっています。赤=紅葉の箕面、緑=新緑の箕面、そして青=渓谷から仰ぎ、木々の隙間から見える青い空と、流れ(落ち)る水(=滝)です。アーティスト(赤)×コミュニティ(青)×箕面の地(緑)、この三つが交差する(交わる)「箕面の森アートウォーク」。それぞれの色が影響し合い別の色生まれ、すべてが重なる真ん中の白。そこには、どんな色が生まれるのか? その場で目撃していただきたい。デザイン:わにぶみち、橋本修一



# MINOH no MORI

**10/14 (土)** 美術家 仲摩洋一と巡る  
**箕面の森アートガイドツアー**  
時間/13:30(集合)~15:30頃(滝前解散)  
集合場所/アートウォーク案内所(展望エレベーター前広場)  
参加自由、無料  
途中参加、退場もOK! お気軽に参加下さい。  
アーティスト在中の展示会場では制作者自身から作品についての解説を聞く事ができるかも。  
仲摩洋一 (美術家/箕面の森アートウォーク実行委員)  
2015年の箕面の森アートウォークでの作品発表をはじめ国内外で活躍。今年のアートウォークではワークショップを開催。(9ページ参照)

アート展示 パフォーマンスと日程 ワークショップ

- 10 大滝前 10月15日 素我螺部 10月21日 佐久間新
- 9 箕面滝前ギャラリー 岡本 光博
- 8 滝道沿いのフェンス 小泉 光子
- 7 琴の家(対岸より) 木村 奈央 10月21日 酒井 エル
- 6 瀧安寺前広場 10月21日 佐久間新 わかばプロジェクト10月14日 仲摩洋一 往来記プロジェクト10月14日 松山 淳
- 5 紅葉 松山 淳
- 4 梅屋敷 瀧 弘子
- 3 大江戸温泉物語 箕面観光ホテル 箕面温泉スパーガーデン 橋本 修一
- 2 ゆずるの足湯 一色 智登世 ヴォワイヤンプロジェクト 後見人・今井祝雄
- 1 MINOH KAJIKASOU 南野 馨
- 11 聖天展望台 10月21日 佐久間新
- ? アートウォーク案内所